

阿部先生なしの対面同窓会（3月8日久木会館において開催）

の開催是非に関する実行委員評議に向けた争点整理

{}内は想定される反論

対面同窓会に向けて有利な事情

- ・世論調査参加者（17人）のうち10人（58.8%）は、阿部先生が阿部会に出席しなかった場合、対面同窓会を実施するのが良いとしている
{実際に参加しようとする者は6人のみである。}

- ・成人式後の同窓会など参加者は生徒のみに限られていたのに、多くの参加者がいた。そうだとすれば生徒だけが参加する阿部会でも、結果的には多くの参加者が来場することが予想される。

{成人式後の同窓会は、成人式後というイベントの後の高揚感に誘われて来場を決めた者や、数年ぶりの再会を期待して参加した者、または飲食店の貸し切りという特別感など、一定の誘引動機に基づいて参加したものであると思われる。これに対して対面同窓会は、阿部先生の来場という絶対的誘引動機を欠くのは格別、成人式後の同窓会において数年ぶりの再会という目的は概ね達成されたものと思われ、全体として誘引動機に乏しく、結果的に多くの参加者が来場することを期待することはできない。}

対面同窓会に向けて不利な事情

- ・阿部先生が参加する対面阿部会は、世論調査参加者のうち15人が参加しようとしている一方、阿部先生が参加しない対面阿部会は世論調査参加者のうち6人が参加するに限られるもので、参加者は阿部先生の参加しない対面同窓会に魅力を感じていない。

{下記の通り、世論調査回答者は全体としてコロナを不安に感じており、阿部先生が参加することができるだけの状況であれば、コロナの不安を感じずに参加できるとの価値判断がこの回答に垣間見えたのであって、阿部先生不参加対面同窓会に魅力がないとするのは論理に飛躍がある。}

- ・コロナの状況が見通せない

{2月中にピークアウトし、3月には感染状況が改善するとの評価もある。現に足元の感染者数増加の程度は鈍化しているともみられる。}

- ・コロナに関して自分に対する危険として恐れているとの回答者が増加している
{第1回世論調査実施時のような状況に回復すれば、不安感も解消される。 }
- ・コロナに関する回答は全体的に悪化している
{上同}
- ・3月になって結局中止になった場合、久木会館の利用料金は回収できなくなる
{現時点でも中止にしても回収できるのは2,000円のみで、実行委員4人が500円を支出すれば足り、実行委員の責任として過大なものではない}